

「歯科訪問診療」について

— 居宅編 —

木 暮 ミ カ

明倫短期大学 歯科技工士学科

Home-visit Dental Treatment

Mika Kogure

Department of Dental Technology, Meirin College

要旨

要介護の高齢者であり、かつ通院困難な患者は、十分な歯科治療が受けられず、QOLも低下しているのが現状である。そこで我々は歯友会附属歯科診療所時代から20年以上の長きに渡り、患者の要請に応じてご自宅や施設に伺い、歯科治療や口腔ケアを行っている。今回、歯科訪問診療で使用する器材と治療の進め方などについて、歯科治療によって満足が得られた症例を交えてご紹介する。

キーワード：歯科訪問診療 / 口腔ケア

Keywords : Home-visit Dental Treatment / Oral Health Care

1. 歯科訪問診療とは

歯科訪問診療とは、基本的に要介護の高齢者で、病気やけが、寝たきり、障害を持つ等の理由で通院が困難な方のために、歯科医師および歯科衛生士が自宅あるいは老健施設、養護施設に訪問して歯科治療、口腔衛生指導、口腔ケア・リハビリなどを行う医療サービスである。

2. 歯科訪問診療の内容

歯科訪問診療では、歯科訪問診療用に開発された小型・高性能のポータブル歯科医療器材(図1)を自宅または施設に帯同するため、訪問先であっても

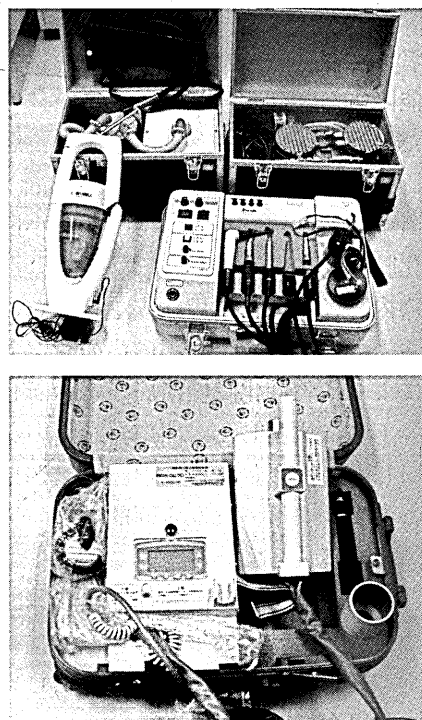


図1. ポータブル歯科医療器材
(上：可搬式歯科用ユニット，下：レントゲン装置)

院内と同等の治療が可能である。しかし、高い技術度や正確性を要求される処置や危険性を伴う処置については、必要な設備・人員を備えた施設で行うべきであり、複雑にならない保存・補綴・歯周処置および咀嚼に関する指導が通常の訪問診療の範囲と考える。

歯科訪問診療の治療内容は以下の通りである。

- 1) 齲蝕治療
- 2) 歯周病治療
- 3) 歯冠補綴物の作製
- 4) 義歯の作製, 調整, 修理
- 5) 簡単な外科処置 (高い技術度, 正確性および厳密な滅菌処置を要求される手術については該当しない)
 - (1) 簡単な抜歯
 - (2) 歯槽骨整形手術
 - (3) 歯槽膿瘍の口腔内消炎処置
 - (4) 口腔外消炎処置
 - (5) 顎関節脱臼非観血的整復術
- 6) 口腔ケア
- 7) 摂食嚥下訓練

3. 事例紹介

- 1) 患者: 39歳 女性 脳性小児麻痺により高次機能障害および四肢の機能障害, 体幹不自由のため通院不可 (図2)
 主訴: 食事の際, 痛がる
 診断: 重度歯周病, 上顎左側第一小白歯C₄急性化膿性歯周炎
 治療内容と経過: 歯周検査を行った後全顎歯石除去. 上顎左側第一小白歯のレントゲン撮影によりC₄急性化膿性歯周炎と診断し, 局所麻酔下にて抜歯した. 開口器を用いなければ開口しないため日常的な口腔ケアが見込めないことより, 治療後は定期的に口腔ケアと歯石除去を継続している.
- 2) 患者: 99歳 女性 認知症と下肢機能障害のため通院不可 (図3)
 主訴: 入れ歯が合わず傷ができてしまい, 痛くて食事ができない
 診断: 義歯不適による下顎右側部義歯性潰瘍
 治療内容と経過: 潰瘍部の消毒および口腔内軟膏の塗布と下顎義歯の調整および新製により, 潰瘍部は治癒した.
- 3) 患者: 75歳 男性 脳梗塞後遺症のため通院不可 (図4)
 主訴: 食事の際むせるようになってきたので, 摂食嚥下リハビリテーションをしてほし

い

診断: 摂食嚥下機能障害

治療と経過: スクリーニングテストより「準備期障害」と診断し, 筋ストレッチ運動, 筋刺激訓練, 咀嚼訓練などのメニューを作成して機能面へのアプローチを行った. 現在は入院されたため, トレーニングを中断している.

4. おわりに

障害を持った患者にとって, 歯科治療は苦痛以外の何者でもない. そこで我々は定期的な検診および口腔ケアを行う「虫歯と歯周病にしない, させないための歯科訪問診療」をモットーに, 地域医療の発展に尽力している. 今後も予防と口腔機能向上支援の重要性について, 患者および家族・介護者にご理解いただけるようインフォームドコンセントを行い, 患者の苦しみを増やすことなく「食と会話の楽しみ」の維持向上を目指すことで, 患者の生き甲斐の実現に寄与したいと考えている.

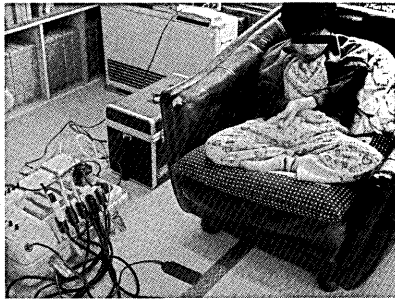


図2. 症例1



図3. 症例2



図4. 症例3